

コンテスト新記録更新の170点！初の女性チャンピオンが誕生！

第4回 2017年 キーパー技術コンテスト入賞者インタビュー



北海道チャンピオン (株)三ツ輪商會 Dr.Drive南郷通店(北海道)

安藤 祐子 選手 170.0点(競技得点/168.00点 タイム/44分03秒 時間順位加減/2.0点)
初の女性チャンピオン!
車に触っていない時間をゼロに近づけることを意識。

しか出てきませんでした(笑)。ガチガチになって、手がめっちゃ震えながらやってきました。去年に比べて全然レベルが違いました。準決勝の結果は4位。反省しようと思って、その日の社内の食事会には出席せず、まっすぐホテルに帰って一人反省会をしました。とにかく緊張を解くために、選手の皆さんや採点者の方、たくさんのギャラリーの人々に見せつけてやるよ!と気持ちを切り替えました。

1級の資格を取ったのは去年の1月か2月くらい。昨年のコンテストは雪が積もっていて比較的暇な時期のスタートだったので、すごくたくさん練習できたんです。コンテストのために練習しただけで出場しました。今年は雪が溶け、需要期に入ってからスタートだったので、毎日お客様の車をどう真剣に施工するかが勝負でした。時間を測ったり、ケータイを脚立に

乗ってムービー撮ったりして動きをチェックしたりしました。

意識したのは、車に触っていない時間を極力ゼロに持っていくことです。施工自体上手だし、そんなに遅くない人がすごい時間かかっているのを見るとあっちこっち走り回ったりしているんですね。そういうところを短くすればいいんだなって思って。特に施工している時間を縮めようってことはしていないんです。

また去年の反省として経験のなさがあったので、お客様の車をたくさん施工して経験を積みました。

妊娠出産から1年で社会復帰しました。5歳の女の子のママをしながら働いています。今まで「大きくなったらママと同じところで働く」って言うんですけど、1位になったと聞いていたら「私は1位になれないからやっぱり辞める」って。ぜひ1位を受け継いでほしいです(笑)。

北海道って、土地柄やっぱ鉄粉等の汚れが

多いんです。私たちが車をきちんとキレイにして、車をキレイに乗ることの魅力を、たくさんの北海道の人々に伝えたいと思います。



チャンピオンの技を動画で!
安藤祐子選手の
チャンピオンビデオを
製作します!

6月中完成予定

長野県チャンピオン

(株)豊島屋
Dr.DriveエナジープラザやすらぎSS(長野県)

井口 和憲 選手

169.83点(競技得点/167.33点
タイム/43分55秒 時間順位加減/2.5点)



急いでも、焦らずじっくりでも時間は変わらない。
頭と身体に染み付いた施工を発揮する。

昨年の全日本チャンピオン決定戦は準決勝で終わってしまい、むちゃくちゃ悔しかったですよ。決勝を眺めている自分がかっこ悪くて。今年は絶対にそんな気持ちになりたくないと思い、何が出来るか考えました。

まず会社では、自分の施工を動画で撮って動きを確認し、時間を測って練習しました。ラップを取っていくうちに、急いで施工しても、焦らずに施工しても時間は変わらないことがわかったんです。むしろ急いでやった方が荒っぽくなって施工漏れができちゃうんです。

それから早く施工するためには手数や効率もあるけど、まずは自分の身体が軽くないイメージする動きに近づけないんじゃないかと減量のために毎日走り込みました。毎朝2、3キロ、疲れていなければ夜も2、3キロ走りました。休みの日は10キロくらい走って、今ではランニングが趣味になりました。柔軟性を高めるためにストレッチもしています。パテないし、力まずに施工できるようになり、疲れを感じにくくなりました。

全日本チャンピオン決定戦本番は、毎日やっている施工が頭と身体に入っていたので緊張はしませんでした。準優勝できたのは、周りのスタッフやお客様が応援してくれたおかげです。レンタカー屋さんも車を提供してくれましたよ。マネージャーとして後輩スタッフに教える機会が増えたことも良かったです。客観的に施工を見て教えることで、自分の施工も省みることができました。

技術コンテストに出場することで、自分が上達しているという感覚が味わえたことが何より楽しかったです。これからはこの楽しさを多くのスタッフに伝えていけたらと思います。



千葉県チャンピオン

日石レオン(株)
Dr.Driveセルフアクア金田インター店(千葉県)

八木 翔吾 選手

165.83点(競技得点/164.33点
タイム/44分11秒 時間順位加減/1.5点)



予選で気づいたクセを徹底的に改善。
繊細で正確な施工が自然にできるとかっこいい。

スポンジの使い方とかケミカルの塗り方とか言う前に、まず自分の身体を支える下半身を強化しようと走り込みました。身体がブレずに安定した施工ができるようになったことを実感しています。

普段の施工では、コンテストを意識することはありませんでした。普段はお客様の要望に応えることが最優先です。コンテストを意識したのは、コンテストがはじまってからです。予選会で採点してもらって、それを元にクセになっている部分を改善しました。弱点は「スパンからはみ出し」でした。自分ではできているものだと思っていたんですよ。自分を第三者の目で見ることで、指摘されてはじめて気づきました。技術コンテストは入賞するしないに関わらず、自分の施工を見つめ直すいい機会だと思います。

全日本チャンピオンになるために必要なのは、繊細さと正確さだと思います。繊細で正確でミスのない施工が自然にできるとかっこいい。上手い人の施工って見とれちゃうし、見て

いて飽きないですよ。

現在、店長を務めています。店頭でトロフィーを飾ったら、早速お客様から「どうしたのこれ?すごいね!うちの車もやってもらおうかな」と声をかけてもらっています。スタッフたちも「うちの店長、コンテストで全国3位なんです!」とお客様にばりばりにアピールしまくってくれています(笑)。コンテストにはもう出場することはできませんが、来年は店のスタッフだけじゃなく会社のスタッフ全員がコンテストに出場し、千葉県と言えば日石レオンと言われるようになるくらい、盛り上げていきたいなと思います。



茨城県チャンピオン

セキショウカーライフ(株)
下館玉戸店(茨城県)

中山 慶一 選手

164.00点(競技得点/163.00点
タイム/46分19秒 時間順位加減/1.0点)

コンテストでは車がキレイなので、新車のお客様へのコーティングと思い挑みました。職場での施工をコンテストだと思い、マニュアルを突き詰めました。マニュアルこそ一番早く高品質な施工ができる方法です。お客様の視線を感じつつ集中することで、コンテストでの多くの視線の中でも普段の施工ができました。



群馬県チャンピオン

セキショウカーライフ(株)
Dr.Drive成島店(群馬県)

名久井 里菜 選手

163.83点(競技得点/163.33点
タイム/47分56秒 時間順位加減/0.5点)

上手い人は漏れがなく、仕上がりもキレイでスピードがあります。今年は忙しく、たくさんの車を施工したのが良かったと思います。ゲストルームで待つお客様が多いため、いかに待たせずにキレイにできるかを意識します。普段の施工を集中してすることで誰でもチャンピオンになれると思います。



福岡県チャンピオン

喜多村石油(株)
Dr.Drive久留米インター店(福岡県)

岡 正篤 選手

162.00点(競技得点/162.00点 タイム/- 時間順位加減/-)

普段からいろんな車種を施工して応用力をつけ、どんな車でもいつもの施工ができるようにしました。前回の全日本チャンピオン決定戦から1年、施工や準備の無駄を修正し、細心の注意を払いながら、日頃の施工をより大事にするという意識の変化が結果につながりました。

